



International Institute of Multi-Cultural Studies

特定非営利活動法人

## 国際比較文化研究所

■ Newsletter ■

Vol. 14 No.2 2013年 5月

### 鷺の宮卓話

#### ネットの時代だからこそ

研究所長 太田敬雄

1970年代後半、弘前大学で先輩の先生方と立ち上げた小さな学会、東北比較文化学会で私は事務局を担当することになった。自分の手書き文字に劣等感を持っていた私はすっかり滅入っていた。当時の学会長がそんな私を見るに見かねたのだろう、日本語のタイプライターを提供して下さった。それは活字を一文字・一文字拾って打つもので、タイプライターと言うよりは手動植字機とでも言った方が良かった。それでも当時の私には大変有り難かった。慣れてくると、どの漢字がどの辺にあるかも検討が付くようになり、タイプを打つ速度も上がってきたのがうれしかった思い出がある。

弘前から群馬に移る頃だったろうか、日本語入力可能なワープロが登場。最初は打ち込んだ文字はほんの数文字、1行の何分の一しか表示されず、ワープロを打ちながら、自分の思考の流れが見えなくて困ったものだった。それでも前述の日本語タイプライターよりは数段便利で、新しい時代の到来を実感したものだ。

このワープロの表示スペースは新しい機種が出るたびに広がり、複数行表示されるようになっていった。活字を拾ったタイプライターと違い、英文タイプと文字配列が同じキーボードで操作できるようになったことも、学生時代に英文タイプを散々使わされてきた私には有り難かった。

こうして、世の中は急速にパソコンの時代へと移っていった。文章を作成して印刷できるだけでなく、送受信も出来るという画期的で、価格的にも個人が所有できるパーソナル・コンピューターの時代の到来だ。このようなプロセスを経て、今日の文字も映像も音声も音楽も気楽に送ったり受け取ったりできる時代が到来したわけです。今では手の平に収まる小さな機種で誰でも気楽に世界の隅々と、情

報の送受信が出来るようになった。

こうして世界中の人々と瞬時につながる事が可能な今の時代が到来したのだ。世界がこの電波情報のネットワークを通して一つの地球社会となる事が可能な時代がやってきたと言って良いだろう。しかし、そのネットワークも十分に活用されていなかったり、時には悪用されて世の中を混乱させたりしている。人類の歴史上に登場してくるありとあらゆる「新発明」が全て悪用されてきたように、パソコンもまた色々な形で悪用されている。しかし、まだ始まったばかりのネットの時代は、やがては人類が一つの地球社会を構築する道具として活用されることだろう。

今まで人類を幾つもの小さな集団に分け、それぞれの権利を守ってきた国境が、その役割を終えて消えていこうとしている。百年前の国境は今では昔の県境程度のものになりつつある。EUの登場もTPPも、その新しい時代へ向けての胎動なのだろう。この地球社会に向けての動きはもう止めることのできないもので、やがては全人類が一つになる動きに違いない。とは言っても、まだまだ50年も100年もかかるのか、それは今の若い世代に託されている。

その流れを地上に戦争の無い平和な時代をもたらす動きとするため、私たちは生身の人の繋がり、心の繋がり的大事さを再認識しなくてはならない。人と人の握手する手の平のぬくもりを新しい時代の基盤としなければ、世界は非人間的なネット社会になってしまう危険性がある。ネットの時代だからこそ、私たちは新しい人と人の繋がりを大切にしなければならぬ。この半世紀の変化を体験してきた私たちの世代が、その変化の中で捨ててきた大切なものを取り戻し、次の世代に残していく責任がある。

国際比較文化研究所は、「まなべる」や「多文化交流プログラム」を通して、新しい時代の人の繋がりを大事に育てる活動を続けている。この活動を読者諸氏に支えていただき、「相互理解に基づいた、より豊かで平和な地球を創る」ために働き続けていかねばならない。

## 2012 年度総会報告

2013年5月11日、午後2時00分から安中市の「まなばるXD」にて、72名の出席（委任状出席64名）陪席2名を得て総会が開催されました。2012年度の事業報告、決算報告、監査報告が承認されました。「続いて2013年度の事業計画案、予算案が承認されました。」

### 2012 年度事業報告書（2012年4月1日～2013年3月31日まで）

- 1、 事業実施の成果：今年度は講演会、多文化交流、まなばるのいずれを取っても充実した一年となった。多文化交流事業は、これまでの参加学生がスタッフとなって積極的にプログラムを創り上げてくれたため、この交流事業が新しいステージに入ったことを実感させられた年となった。多目的教育機関としての「まなばる」の活動も通年の英会話・学習サポートの受講者が約200名に達した。この活動の意義が地域で認められ定着してきたといえよう。他方、講演会の案内などの案内に予定外の多額な出費がかさみ、さらに昨年度中にこの年度の会費を支払われていた人が多く予定したほどの収入が無かったために厳しい運営が迫られた。
- 2、 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益者範囲と人数
講演会	対談「私の生き方」第2回 S.ジュティーン先生	2012年4月21日	まなばるXD	会員・一般 約20名
	第3回 小坂恵子弁護士	5月19日		
	第4回 櫻井信治氏	7月21日		
多文化交流	多文化交流 in ぐんま	3月31日～4月1日	学習の森	23名 大学生・留学生・ボランティア 約40名 外大生4名他10名 新たな参加者も加わり20名 双方合せて80名
	多文化交流 in 釜山・ソウル	8月20日～27日	釜山・ソウル	
	釜山外大生との交流	2013年1月22日～28日	群馬・東京	
	多文化交流OG・OB会	2月15日～17日	学習の森・草津	
	多文化交流 in マラン	3月4日～13日	マラン	
ニューズレター発行	Vol.13.No.1～Vol.13.No.6	4・5・6・10・12・3の各月		会員・寄付者・多文化参加者400名
まなばる (子ども向け事業 & 親子イベント)	英会話・学習サポート	通年	安中市内	約200名
	夏フェス2012「ホラー祭り」	8月18日	まなばるXD	約150名
	高学年サマーキャンプ	9月1日～2日	学習の森	約20名
	ハロウィン大作戦	10月30日	安中市内	約150名
	クリスマス旅行（ディズニーランド）	12月16日	東京ディズニーランド	約40名

### 2013 年度事業計画書

2012年度の事業をほぼそのまま踏襲する予定です。一部新しい部分を計画書から抜粋しておきます。

- 1、講演会等として、「押し花絵はがき創り」を計画しています。また最近までアメリカン・フットボールの選手として活躍していた講師から「アメリカン・フットボールの魅力」を話してもらう予定です。
- 2、多文化交流活動として9月に「多文化交流 in 静岡」を立ち上げる予定です。これまで、マラン・プログラムに参加した学生たちが中心になって企画してくれています。
- 3、マランの高校からは協定の申し入れもあります。検討に入ったところです。
- 4、「多文化交流 in U.S.A.」を模索中です。アメリカにも、多くは無いとはいえ、大学で日本語を専攻できる大学がいくつかあります。その大学の学生たちとアメリカで、日本語による交流は面白いと思います。

## 2012年度決算書

(2012年4月1日～2013年3月31日)

## 2013年度予算書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

科目	金額		科目	金額	
I 経常収益			I 経常収益		
1. 受取会費			1. 受取会費		
正会員受取会費	173,000		正会員受取会費	300,000	
賛助会員受取会費	0		賛助会員受取会費	0	
	173,000	173,000		300,000	300,000
2. 受取寄附金			2. 受取寄附金		
受取寄附金	676,782		受取寄附金	500,000	
施設等受入評価益			施設等受け入れ評価益		
	676,782	676,782		500,000	500,000
3. 受取助成金等			3. 受取助成金等		
受取民間助成金	550,000		受取民間助成金	300,000	
	550,000	550,000		300,000	300,000
4. 事業収益			4. 事業収益		
言語・文化教育事業収益	7,886,000		言語・文化教育事業収益	8,500,000	
多文化交流事業			多文化交流事業		
	7,886,000	7,886,000		8,500,000	8,500,000
5. その他事業差益	-280,240		5. その他事業差益	200,000	
雑収益・受取利息	39,350		雑収益・受取利子	10	
	-240,890	-240,890		200,010	200,010
経常収益計		9,044,892	経常収益計		9,800,010
II 経常費用			II 経常費用		
1. 事業費			1. 事業費		
(1) 人件費			(1) 人件費		
給料手当	4,965,580		給与手当	5,300,000	
法定福利費	370,386		法定福利費	450,000	
退職給付費用	0		退職給付費用		
福利厚生費	0		福利厚生費		
人件費計	5,335,966	5,335,966	人件費計	5,750,000	5,750,000
(2) その他経費			(2) その他経費		
会議費	37,736		会議費	40,000	
旅費交通費	0		旅費交通費	0	
租税公課	8,200		租税公課	10,000	
水道光熱費	286,650		水道光熱費	300,000	
通信費	155,347		通信費	160,000	
広告宣伝費	128,544		広告宣伝費	130,000	
交際費	139,865		交際費	140,000	
損害保険料	51,490		損害保険料	55,000	
修繕費・施設管理費	14,912		修繕費・施設管理費	20,000	
事務消耗品費	339,231		事務消耗品費	350,000	
賃借料	1,460,000		賃借料	1,460,000	
燃料・車両費	268,968		燃料・車両費	270,000	
新聞図書費	63,787		新聞図書費	70,000	
振替手数料	756		振替手数料	800	
寄付金支出	5,000		寄附金支出	0	
その他経費計	2,960,486	2,960,486	その他経費計	3,005,800	3,005,800
事業費計		8,296,452	事業費計		8,755,800

2012 年度決算 (3 ページから続く)			2013 年度予算 (3 ページから続く)		
2. 管理費			2. 管理費		
(2) その他経費			(2) その他経費		
会議費	8,549		会議費	10,000	
旅費交通費	127,000		旅費交通費	100,000	
租税公課	7,700		租税公課	7,000	
水道光熱費	83,999		水道光熱費	85,000	
通信費	336,507		通信費	350,000	
損害保険料	10,795		損害保険料	10,000	
事務消耗品費	199,180		事務消耗品費	200,000	
諸会費	3,000		諸会費	3,000	
新聞図書費	14,900		新聞図書費	10,000	
振替手数料	17,485		振替手数料	20,000	
その他経費計	809,115	809,115	その他経費計	795,000	795,000
管理費計		809,115	管理費計		795,000
経常経費計		9,105,567	経常経費計		9,550,800
当期経常増減額		-60,675	当期経常増減額		249,210
経常外費用計			経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額	0	-60,675	税引前当期正味財産増減額	0	249,210
法人税、住民税及び事業税	0	0	法人税、住民税及び事業税	0	0
当期正味財産増減額		-60,675	当期正味財産増減額		249,210
前期繰越正味財産額		36,661	前期繰越正味財産額		-24,014
次期繰越正味財産額		-04,014	次期繰越正味財産額		225,196

なお、印刷の都合上、ゼロ円の項目は削除しました。大きなものでは経常費用の管理費(1)人件費はすべて削除しました。また、経常収益の中の多文化交流事業が記載されておりませんが、これは基本的に入った額がそのまま事業のなかで支出されるものですから「事業預り金」として処理しており、その残金あるいは不足金を研究所の収益としております。収益の5、その他事業差益にその最終額が記載されています。昨年度は約28万円赤字になり、研究所から補填しています。決算書の様式も昨年度と異なりますが、これは県に提出する書式に合わせたためです。

### 2011 年度寄附金返還について

振込口座をご連絡下さった皆様に、ご連絡です。手続きに手間取っておりますが、六月中にはご送金申し上げる予定です。時間がかかって済みませんが、今後とも研究所の活動をお支え下さいますよう、よろしく願い申し上げます。

## 「押し花絵はがき」

一緒に作りませんか

押し花を好きなデザインに並べて、はがきに透明なシールで貼り付けます  
綺麗で実用的です

日時:2013年7月13日(土)午後2時~3時半

場所:まなばるXD(安中市安中2456-2 ヤマダ電機前・カラオケまねきねこ隣り。)

材料費:一人400円 参加申込:研究所まで電話かメールでご連絡ください。

講師:太田玲子さん

子供さんから大人まで、誰でもできます・楽しめます。

押し花もはがきもこちらで準備しますが、ご自分で好きな押し花を準備して下さっても結構です。自分の押し花を使いたい方は、いまから押し花を準備して下さい。はがきも官製はがきなど、お好きなはがきをご用意いただければ、それを押し花絵はがきにすることもできます。楽しいですよ!

## 多文化交流のページ

多文化交流 in マラン 2013

留学生との多文化交流 in ぐんま 2013

ブラウイジャヤ大学の日本語教師、村上園子先生からのメールです。お許しを得て転載します。

教師の目で見たと

### 「多文化交流 in マラン 2013」

村上園子

今回初めて多文化交流 in マランに参加させていただきました。1週間という短い間ではありましたが、プログラムを通して得られたものは、私の想像を遥かに超えたものでした。

私は普段、ブラウイジャヤ大学の学生達と接しているせいか、どうしても彼ら側に注目してしまうのですが、教室の中で見る顔とは違う彼らの顔を見ることができ、本当にいい経験になりました。

多文化が終わってから、学生に感想を聞きましたが、どれもこれも「楽しかった」「またやりたい」という感想が多かったです。パートナーとして参加した学生の一人は、多文化に参加したことによって、「自信がついた。」と話していました。もう一人の学生からは、一般の日本人と会話することが勉強になるという感想をもらいました。私もそうですが、ネイティブ教師として学生と接する場合は、やはり気に付けて話をします。学生もそれに気づいたようで、「多文化の参加者と最初話しをした時は、話し言葉だし、スピードが早くて混乱しました。」と話していました。

やはり、マランにいと日本語を使う機会はありませんように思います。ネイティブの教師はおりますが、教師だけではなく、同年代の話し相手、さらには、年齢や性別を超えた「友達」が必要だと思います。そういう点からも、今回の多文化交流も、学生にとってかけがえのない時間を過ごせたと思います。

今回、このような素晴らしい体験をさせていただき、太田先生を始め、スタッフ、参加者の方々、ブラウイジャヤ大学の学生達には、心から感謝しております。また来年の多文化交流 in マランを楽しみにしております。



マランで：村上先生（右）と学生達

## 留学生との多文化交流

in ぐんま 2013 夏

大学生有志の下で 8 月の多文化交流の準備が始まりました。これまで何度かスタッフのリーダーを務めてきた名コンビ、清水理沙さんと岸綾夏さん（共に 4 年生）がサポートに回り、2 年生の脇優美さん・増井奈都乃さんがリーダーを務めます。

今年は 8 月 9 日（金）から 12 日（月）までの 3 泊 4 日です。



スタッフ会議 真剣な話し合いも  
カメラを向けると一瞬の内に和らぐ表情

### ホストファミリー大募集！

今回の留学生との多文化交流では、10日（土）の午後から11日（日）午後まで、学生達（留学生と日本人学生）を受け入れて下さるホストファミリーが必要です。皆さんのお宅で引き受けてはいただけませんか。基本は留学生と日本人学生二人を一部屋で結構ですので「一日家族」としてお引き受け下さい。

11日の夕方には、他のメンバーも共に学習の森で交流していただく事も計画しています。

### 食事ボランティアも募集しています

参加者たちにあまりひもじい思いをさせないため、食事ボランティアも募集中です。詳細はこれから検討しますが、10日にはバーベキューの準備と翌朝の食事。これにはまなぼるの子どもたちも加わります。

11日にはホストファミリーも加わっての夕食会が予定されます。皆様のご協力で充実した多文化交流が出来るようにお願いします。

ホストファミリー・食事ボランティア：お引き受けいただける方は研究所までご連絡下さい

### 留学生との多文化交流 in 静岡

9月初めには、群馬以外では初めて、静岡での留学生との交流が計画されています。春のマランに参加した静岡の常葉大学の学生が中心になっての企画です。

詳細はこれからですが、きっと群馬での多文化交流と同様に思い出深い出会いの時がもたれることでしょう。

どんなプログラムが組まれるのか、今から楽しみです！

## 多文化交流 in 釜山・ソウル

参加者募集中!

今年も大勢の参加者が貴重な経験とあたたかいつながりを築いてくることでしょう。

釜山では釜山外大の学生達との交流  
ソウルでは檀国大学の学生達と交流

### プログラム概要

日時: 2013年8月18日(日)～8月26日(月)

8泊9日 (注)18日は成田で前泊

参加費: 概算13万円(申込金3万円・旅行保険を含む)・一部食費等別途

募集人員: 25名(12名にて実施)申込順。

申込締切: 2013年6月15日

参加資格: 18歳以上の健康な方。使用言語: 日本語(韓国の参加者は全員日本語を話します)

企画: NPO法人国際比較文化研究所

責任者: 太田敬雄



2012年夏 釜山のビーチで

海外まで行って日本語で交流するプログラムは国際比較文化研究所のオリジナル企画だろうと思います。これを育てていくためには何とかもう少し参加者の負担する経費を軽減したいものです。

1人でも多くの皆様の参加を楽しみにお待ちしております。詳細は同封のチラシをご覧ください。



— ようこそ MANAPAL OFFICIAL WEBSITE へ。  
「地域」そして「子供たち」に、より多くの「学びの機会」と「憩いの場」を。『まなぱる』は、そんな願いで設立した多目的民間教育施設です。

2009年10月に小規模な英語教室から始まり、2013年4月現在、2歳のチビっ子から大学院生や大学の先生まで!約200名の生徒たちがまなぱるに通っています。まなぱるの活動は英語学習に留まらず、様々な角度から「子どもたち/若者たち」の活動・成長を応援しています。

地域の皆様や県内外の仲間たち等、本当に多くの方々に支えられこの活動を継続しています。そのような皆様に心から感謝致しますと共に、その思いに応えるべく「現代社会が子どもたちに課した諸々の問題」の改善と解決に努めています。

コミュニケーション能力の低下、希望を持ってない未来、埋もれていく可能性、踏み出せない一歩、逃げ道の先にある落とし穴。子どもたちは多くの悲しい現実と直面しています。そしてその多くの問題は、彼らに原因があるわけではありません。

彼らが育つ環境が彼らにもたらす問題ばかりです。そしてその環境を作っているのは今まさにこの社会を支えている大人たち。彼らの健やかな成長を願ってやまないはずの私たち自身なのです。まなぱるの取り組む問題は、つまりはこの世界に生きる、私たち自身の問題です。

まなぱるが子どもたちに伝えようとしていることは、そんなに難しいことではありません。喜び、幸せ、希望、楽しみ、そんなものは実はそこらじゅうに転がっているということ。

それから、困難からも背を向けず、ひとつひとつを乗り越えて成長していくんだということ。

成長とは、未来の可能性を広げるとっておきの宝物です。子どもたちがみんな、そんな宝探しをめいっぱい楽しんでくれることを願いつつ。そのお手伝いをしていくことが私たちの役目です。

NPO 法人国際比較文化研究所副所長/まなぱる代表  
太田琢雄

### まなぱる

<英会話・英語> (未就学～大人まで)

#### ◎こども英会話くらぶ

未就学: 45分、小学生: 50分

月謝 4000円/レッスン週一回、月4回程度

#### ◎会話+文法 英語クラス 小3～小6

月謝 5000円/週一回 50分

#### ◎個別指導 英語教室 中高生・大人

受講料 中高生 2000～2500円

#### ◎個別指導 算数・数学

小1・2年 1回60分 週1回/月謝 4000円

小3～6年 1回60分 週1回/月謝 5000円

### Course Schedule

◎中学生 1回75分/2000円

◎中学生対象

5教科コース / 英語コース / 数学コース

◎不登校・ひきこもり支援

—学習サポート&相談室—

～教育に関するご相談は何でも・いつでも～

TEL:027-386-8499 FAX:027-386-9000

MAIL: mail@manapal.jp

BLOG: <http://manapal.gunmablog.net>

# こんな時代だから 世界に向かって目を開こう・世界の友と手をつなごう

足並みそろえて手をつなぐ  
てのひら  
掌のぬくもりは一瞬にして友を作る



NP O 法人 国際比較文化研究所  
だから出来る友達作りのスゴワザ

## 国際比較文化研究所の 多文化交流

すべて使用言語は日本語です。  
世界で日本語を学ぶ300万人の人々と日本語でつながろう！

### 多文化交流 in 釜山・ソウル

2013年8月18日(日)～26日(月)  
もう直ぐ締切りです  
釜山では釜山外国語大学校・  
ソウルでは檀国大学校の日本語専攻生と交流

### 留学生との多文化交流 in ぐんま

2013年8月9日(金)～12日(月)  
もう直ぐ募集が始まります  
さて、どこの国から  
留学生が集まるでしょう？

### 多文化交流 in 静岡

2013年9月上旬  
今計画中です  
静岡での初めての多文化交流  
スタッフ・参加の一人はあなた！

### 多文化交流 in マラン

2014年3月上旬  
インドネシア：ジャワ島のマラン  
国立ブラウィジャヤ大学で  
日本語を専攻する皆との交流

これからの世界の平和を創り出す、若者の掌のぬくもりを感じられるネットワーク  
世界の友と手をつなげるのは…今…学生のうちです  
異なる文化・価値観と触れて初めて日本も見えてくる

NP 法人国際比較文化研究所のプログラムです。詳細はフェイスブックで！ 問合せ先：mtharunac@xp.wind.jp

## 悩み事とお詫び

会員・ご寄付を下さる方・多文化交流やまなばる関係者などの大勢の方々、600名前後の方々に支えられていることを心から感謝しています。研究所発足当初から、その記録は厳密につけているのですが、ここに一つの大きな悩みがあります。記録には有っても記憶にはとどめられないことです。

覚えていればお目にかかった折などに直接御礼を申し上げたいのです。しかし、それが出来ないのが悩みで、心から申し訳なく思っています。何か良い方法は無いものかと悩んでいます、どうも解決できる問題ではなさそうです。

## ☆会費納入とご寄付の感謝とお願い☆

皆様から、思いをはるかに超えたサポートをいただき心から感謝しております。二年後の認定NPO法人格取得を見据えながら着実に研究所の活動を続けて参ります。2012年度、認定について不確かなところがあり、ご寄付は例年に至りませんでしたので、今年度必要とされているのは3千円以上のご寄付を150人の方々からいただく事です（ここには会費は含まれません）。この目標を達成するためにも、お一人でも多くの方に国際比較文化研究所の活動を知っていただき、支えていただけるよう努力していく所存です。多文化交流活動、まなばる活動、インドネシアからの招聘活動へのさらなるご協力をお願いします。いずれの活動も皆様のご協力なしには継続できません。支えて下さる方の輪が広がるよう、お力添えをお願いします。

年会費は個人が2000円です。いつものように会費をすでに頂戴している方にも振込用紙を同封させていただきますが、これはご寄付下さる方のため、また新入会員をお誘いいただくための振込用紙です。

**決してご寄付を強要するものではありません。**

### 会費・寄付（2013. 4. 1. ～2013. 5. 24. ）

<敬称略・順不同>

今年度に入り、次の方々から会費・ご寄付をいただきました。有難うございます。

<入会・会費>丸山輝彦、佐京沙也加、Candy Koo、菅ヶ谷純弘、村田元、

<会費>恩幣宏美、真下東雄、太田琢雄（12, 13）、幸田一彦、狩野真由美、金井美由紀、村井田和夫（14）、土屋操、山本浩、櫻井なおみ、丸山武子、福田英作・洋子、佐俣英司、今井睦子、前田申栄、佐藤貴雄、高尾善樹（12, 13）、吉田省史郎、岩井均、植原映子（14）、正田智美、斎藤和子、斎藤正典、加瀬谷恵、菅ヶ谷由美子、川口知幸、佐野啓予、梶原悦子、熊倉浩靖、須山史枝、柴山享、木村真弓、朴惠蘭、高山有紀（12, 13）、木暮道子、小倉寿、本島靖子、上田暢子、佐藤秀男、山崎利夫、永田強一。

<インドネシア招聘・多文化交流>佐京沙也加、吉田省史郎、菅ヶ谷由美子、柴山享、木暮道子、村田元。

<まなばる>岡本武昭、村井田和夫、吉田省史郎、植原映子、柴山享、木暮道子、村田元。

<一般寄付>真下東雄、幸田一彦、狩野真由美、野口紀子、太田琢雄、金井美由紀、庄田妙子、川口知幸、岡本武昭、村井田和夫、池田章二、松香光夫、飛松和子、福田英作・洋子、山村日出夫、匿名氏、佐藤貴雄、新澤誠治、高尾善樹、山田美和子、正田智美、斎藤和子、斎藤正典、川口知幸、柴山享、高山有紀、野田敏郎、親泊治、岡田一恵、山崎利夫。

編集後記：

◇先号でお知らせしましたように、群馬在住の学生たちが、今年の夏の「多文化交流 in ぐんま」の準備を始めています。数週間前にスタッフ会議が始まりました。毎週金曜日の夜に会議を持つことになっています。実に心強い若者たちです。立ち上げるにはホストファミリーや食事ボランティアの協力が必要になります。皆様一人一人に出来る形でのご協力をお願いします。予定は8月9日から12日です。

Newsletter 発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所

事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷺宮3413-3

電話：027-382-5998 FAX：027-382-6393

e-mail：mtharunac@xp.wind.jp

HP：http://www8.wind.ne.jp/mthc

MANAPAL ブログ：http://manapal.gunmablog.net/e80854.html

郵便振込口座番号：00510-0-61974 名称：国際比較文化研究所

◇「多文化交流 in 静岡」も近いうちにスタッフ会議が始まります。9月には静岡でも「留学生との多文化交流 in 静岡」がスタートしそうです。

群馬から始まった多文化交流、平和な明日の世界を託す若者たちのネットワーク作りが、いよいよ群馬県外に広がっていく時が来たようです。感謝。(T)